|  |
| --- |
| 保護者の皆様　　　　　　　　　　　 　　　　　　　　平成２５年７月１９日　 学校だより　**けやき坂**川西市立けやき坂小学校校 長　斎 木　久 雄 |

　本日、１学期の終業式を無事に終えることができました。この１学期間を振り返ると、本当に色々な出来事がありましたが、けやき坂小学校の子ども達の素晴らしさを実感できた１学期だったことを、とても嬉しく思います。

毎朝校門に立って挨拶をしていますが、子ども達は、本当に元気よく挨拶をしてくれます。中には、私の顔を見ると駆け寄って来て、毎日ジャンケンをする子もいます。

中学校に勤務していた頃は、ずっと生徒指導を担当していて、生徒の前で笑顔を見せることも少なかったと思いますが、今では毎日笑顔で子ども達と接し、「楽しさ・喜び」を実感しています。

次に、終業式での校長の話の概略を記します。

　今日で、平成２５年度の１学期が終わり、明日から４４日間の長い夏休みに入ります。先生は、中学校から初めて小学校に来ましたが、このけやき坂小学校でとっても嬉しい発見がたくさんありました。

○発見の第１は、皆さんがとっても素直な良い子だということです。

先生は、このけやき坂小学校は、日本一の良い学校だと思っていますが、それは、

ここにいる皆さん全員が、とっても素直な良い子だからです。

○発見の第２は、高学年がとてもしっかりしているということです。

５・６年生の皆さん、その場に立って下さい。

６年生の修学旅行・５年生の自然学校に同行して、皆さんの様子を見ましたが、皆さんの行動は、本当にしっかりしていて素晴らしかったです。５・６年生の皆さんに大きな拍手をお願いします。２学期は、大きな行事がありますが、けやき坂小学校の「代表」として、更に頑張ってくれることを期待しています。

○発見の第３は、元気な挨拶ができるということです。

　１年生から６年生まで、全員が本当に元気な挨拶をしてくれます。

　廊下や階段に「人間関係を良くする魔法の言葉」として「元気な挨拶」と「ありがとう」「ごめんなさい」とい掲示物があるのを見てくれていると思いますが、

　このけやき坂小学校の皆さんが、魔法の言葉で幸せになれることを願っています。

次に、夏休みの注意についてお話をします。

以前のお迎え訓練の時に先生が放送で伝えた「いか・の・お・す・し」という言葉を覚えていますか?　これは、子どもを守るための合言葉です。

○「いか」は、行かない

知らない人について行かない。

○「の」は、乗らない

　知らない人の車に乗らない。

○「お」は、大声を出す

　危険を感じたら大声を出す。

○「す」は、すぐ逃げる

　危険を感じたら、すぐに逃げる。

○「し」は、知らせる

　どんなことがあったのか、助けてくれた大人の人やお家の人に知らせて下さい。

「いか・の・お・す・し」は、自分を守る大切な約束事だから、しっかりと身につけて、４４日間の夏休みを有意義に過ごし、９月２日の始業式に元気に登校してくれることを期待しています。

＜保護者の皆様へのお願い＞

夏休みの期間は、基本的には学校教育から離れて各自の家庭の一員として、家庭教育を親から受け、家族の絆を強めることを最大の目標にしています。

小学校は、１年生から６年生まで、子どもの発達段階に大きな差があるため、一概には言えませんが、この夏休みの期間に、家庭で我が子を「育み・教え・導く」ときに、次のような配慮をして頂ければと思います。

○子どもは、日々発育し成長しています。我が子と話をするときは、目前の我が子を正視して話をしてください。そして、強引に押さえたりしないで、まず我が子を認め、肯定してください。否定からは進歩は生まれません。

○話し合いは、親子といえども、まず相手の言うことをきちんと聞くことからスタ

ートします。途中でさえぎらないことが原則です。そして、親もその時の気持ち（思い）をきちんと伝えることです。

○学習については、決まった時間になれば机に向かう、学習習慣の確立を目指して下さい。そして、懇談での担任からの話や通知表の所見を参考にして、苦手な教科の克服を図って下さい。大切なことは、諦めさせるような言動を親がしないことです。

○家庭でのお手伝いは、親からきちんと「○○をしてくれるとありがたい」と伝えることです。そして、子の言い分も聞いて下さい。

○非行については、本校では、あまり心配はないと思いますが、高学年になると

　本人が直接しなくても、友人や仲間に誘われたり、同行したことで巻き込まれることがあります。万一、誘われたり仲間入りしそうになったら、親が自分の生き方を賭けて、断固とした態度をとることが肝要です。この時の親の態度が、多くの誘惑を断ち、我が子を家族の元に戻らせます。

この夏休み、いつもと少し違った視点で我が子の長所を発見する４４日間として頂ければ幸いです。

「子は親の言うとおりにはならないが、

　親のするとおりにはなる」